

日本呼吸器学会誌

(1)タイトル：中等・重症自己免疫性肺胞蛋白症に対するサルグラモスティム吸入試験の速報（35字）

著者名：中田 光¹、半田知宏²、坂上拓郎³、鈴木拓児⁴、谷野功典⁵、赤坂圭一⁶、伊藤理⁷、富井啓介⁸、坂本憲穂⁹、江田良輔¹⁰、木村孔一¹¹、北村信隆¹

全著者所属先

1. 新潟大学医歯学総合病院高度医療開発センター先進医療開拓部門
2. 京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学
- 3 熊本大学病院呼吸器内科
4. 千葉大学医学部附属病院
5. 福島県立医科大学呼吸器内科学講座
6. さいたま赤十字病院 呼吸器内科
7. 愛知医科大学医学部内科学講座（呼吸器・アレルギー内科）
8. 神戸市立医療センター中央市民病院
9. 長崎大学医学部附属病院呼吸器内科
10. 倉敷市立市民病院呼吸器内科
11. 北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室

(2)要旨

中等・重症の自己免疫性肺胞蛋白症 34 例に対するサルグラモスティム (sargramostim) 24 週吸入の奏効率を知り非改善例への増量吸入の効果と安全性を探索することが本研究の目的である。7 日間連日 250 μ g/日吸入投与を隔週で 12 クール行ったところ、2 例が脱落し、18 例が改善した (A-aDO₂ が 10mmHg 以上改善した)。非改善 14 例に対し、500 μ g/日に増量し、さらに 6~12 クールを安全に投与でき、1 例脱落したが、6 例において改善した。非改善例への増量追加吸入の安全性有効性が示唆された。 248 字

(3) キーワード:自己免疫性肺胞蛋白症、サルグラモスティム、吸入療法、肺胞動脈血酸素分圧較差、抗 GM-CSF 自己抗体
autoimmune pulmonary alveolar proteinosis, sargramostim, inhalation therapy, alveolar-arterial oxygen difference, anti-GM-CSF autoantibody

短縮タイトル:APAP に対する GM-CSF 吸入療法